平成 29 年 1 月 20 日

各　　位

会 社 名　日 本 水 産 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長執行役員　細見 典男
コード番号　1332
問合せ先　経営企画 IR 室長　　根本 喜一
（TEL．03－6206－7037）

（訂正）「平成 26 年３月期第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成 25 年８月５日に開示いたしました「平成 26 年３月期第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．訂正理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、平成 29 年１月 20 日付「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度に係る決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には＿＿＿を付して表示しております。

以上

【訂正後】

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場会社名　日本水産株式会社　　上場取引所　東
コード番号　1332　URL http://www.nissui.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長執行役員　(氏名) 細見 典男
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画ＩＲ室長　(氏名) 根本 喜一　TEL 03-3244-7490
四半期報告書提出予定日　平成25年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	142,429	1.1	2,648	1.9	3,710	129.7	2,694	256.8
25年3月期第1四半期	140,926	4.3	2,599	△28.1	1,615	△47.2	755	△39.3

(注)包括利益　26年3月期第1四半期 5,270百万円 (61.1%)　25年3月期第1四半期 3,271百万円 (67.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.75	―
25年3月期第1四半期	2.73	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	432,523	71,424	13.4
25年3月期	424,108	66,404	12.5

(参考)自己資本　26年3月期第1四半期 58,075百万円　25年3月期 52,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	290,000	4.7	4,000	37.3	3,000	297.9	1,000	―	3.62
通期	582,000	2.7	12,500	115.2	11,500	111.3	6,000	―	21.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社　(社名)　　、除外 — 社　(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　: 無
② ①以外の会計方針の変更　: 無
③ 会計上の見積りの変更　: 無
④ 修正再表示　: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	277,210,277 株	25年3月期	277,210,277 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	924,405 株	25年3月期	923,417 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	276,286,285 株	25年3月期1Q	276,290,071 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（１）経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（２）財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
（１）四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・６
四半期連結損益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(継続企業の前提に関する注記)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(セグメント情報等)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和により円安・株高が進み、個人消費などに回復の兆しが見られました。

世界経済（連結対象期間 1-3 月）につきましては、米国では景気は緩やかな回復傾向にあり、欧州ではドイツ・イギリスにおいて個人消費で持ち直しの動きが見られるものの、ギリシャ・イタリアなどでは景気低迷が続いています。アジアでは中国において経済成長率が鈍化しています。

このような状況下で当第１四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は 1,424 億 29 百万円（前年同期比 15 億３百万円増）、営業利益は 26 億 48 百万円（前年同期比 49 百万円増）、経常利益は 37 億 10 百万円（前年同期比 20 億 94 百万円増）、第１四半期純利益は 26 億 94 百万円（前年同期比 19 億 39 百万円増）となりました。

事業の概況は次のとおりであります。

（１）水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

＜当第１四半期連結累計期間の概況＞

水産事業では売上高は 537 億 86 百万円（前年同期比 28 億 55 百万円減）となり、営業利益は５億 12 百万円（前年同期比 66 百万円減）となりました。

漁撈事業：前年同期比で減収、増益となりました。

・ 日本では、海外まき網漁業において、かつおの漁獲・販売が順調に推移しました。近海漁業では、いわしの漁獲が好調に推移しましたが、ぶり・まぐろの漁獲が減少しました。

養殖事業：前年同期比で減収、減益となりました。

・ 日本では、ぶり養殖事業で魚価が回復し販売数量が増加しましたが、まぐろ養殖事業は販売数量が減少しました。
・ 南米では、鮭鱒養殖事業で魚価が上昇しましたが、魚病の影響もあり水揚数量が減少し、原魚コストが上昇しました。

加工・商事事業：前年同期比で減収、増益となりました。

・ 日本では、鮭鱒などの販売価格が上昇しました。また、水産物の在庫圧縮を進めました。
・ 北米では、すけそうだらのすりみ、フィレーの販売価格が下落し、助子の生産量が減少しました。

（２）食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

＜当第１四半期連結累計期間の概況＞

食品事業では売上高は 724 億 27 百万円（前年同期比 33 億 91 百万円増）となり、営業利益は７億 78 百万円（前年同期比 71 百万円減）となりました。

加工事業：前年同期比で増収、減益となりました。

・ 日本では、家庭用冷凍食品、業務用冷凍食品において円安による輸入原材料・製品などの価格上昇の影響がありました。
・ 北米では、家庭用冷凍食品会社で厳しい価格競争が継続していますが、業務用冷凍食品会社では外食卸向けの販売が堅調に推移しました。

チルド事業：前年同期比で減収、増益となりました。

・ コンビニエンスストア向けチルド弁当等の売上が減少しましたが、工場の生産管理体制の見直し・改善を行い、廃棄ロスを削減しました。

（３）ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料（注１）、機能性食品（注２）、および医薬品、診断薬の生産・販売を行っております。

＜当第１四半期連結累計期間の概況＞

ファイン事業では売上高は 72 億 85 百万円（前年同期比４億 52 百万円増）となり、営業利益は 19 億 29 百万円（前年同期比２億円増）となりました。

・ 医薬原料は前年同期並みに推移し、機能性食品については、通信販売での広告宣伝により販売が堅調に推移しました。連結子会社の日水製薬株式会社においては医薬事業が伸び悩みました。

（４）物流事業
物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。
＜当第１四半期連結累計期間の概況＞
物流事業では売上高は 34 億 14 百万円（前年同期比２億 69 百万円増）となり、営業利益は３億 61 百万円（前年同期比 70 百万円減）となりました。
・ 共同配送事業の新規取り組みなどにより売上は増加しましたが、冷蔵倉庫事業において取扱量が減少しました。

（注１） 主に食品素材や化粧品素材向けとなる EPA・DHA、グルコサミン、コレステロール、オレンジラフィー油など。
（注２） 特定保健用食品「イマーク」・「イマークＳ」や EPA・DHA、グルコサミンなどのサプリメント

(2) 財政状態に関する説明
資産、負債及び純資産の状況
資産
流動資産は、前連結会計年度末に比べて 2.7%増加し、2,069 億 60 百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が 39 億 69 百万円、商品及び製品が 59 億 46 百万円増加したことなどによります。
固定資産は、前連結会計年度末に比べて 1.4%増加し、2,255 億 62 百万円となりました。これは有形固定資産が５億 56 百万円、投資有価証券が 26 億 42 百万円増加したことなどによります。
この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて 2.0%増加し、4,325 億 23 百万円となりました。

負債
流動負債は、前連結会計年度末に比べて 2.4%増加し、2,071 億 37 百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が 31 億７百万円、短期借入金が 42 億 67 百万円増加したことなどによります。
固定負債は、前連結会計年度末に比べて 0.9%減少し、1,539 億 60 百万円となりました。これは長期借入金が 18 億 54 百万円減少したことなどによります。
この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて 0.9%増加し、3,610 億 98 百万円となりました。

純資産
純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 50 億 20 百万円増加し、714 億 24 百万円となりました。これは主として四半期純利益 26 億 94 百万円及び為替換算調整勘定が 24 億 70 百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
現時点においては、平成 25 年５月 15 日に公表いたしました平成 26 年３月期の業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項
該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,106	7,199
受取手形及び売掛金	70,573	74,542
商品及び製品	44,834	50,781
仕掛品	16,601	18,481
原材料及び貯蔵品	27,611	26,647
その他	28,371	29,838
貸倒引当金	△500	△530
流動資産合計	201,598	206,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,161	49,455
その他（純額）	63,445	63,708
有形固定資産合計	112,607	113,164
無形固定資産		
のれん	5,030	4,705
その他	12,394	12,456
無形固定資産合計	17,425	17,162
投資その他の資産		
投資有価証券	67,627	70,270
その他	30,193	29,368
貸倒引当金	△5,344	△4,403
投資その他の資産合計	92,477	95,235
固定資産合計	222,509	225,562
資産合計	424,108	432,523

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,416	35,524
短期借入金	130,736	135,003
未払法人税等	3,026	1,263
未払費用	24,099	24,549
引当金	4,954	3,792
その他	7,116	7,003
流動負債合計	202,350	207,137
固定負債		
長期借入金	131,940	130,085
退職給付引当金	17,069	17,459
その他の引当金	239	220
その他	6,103	6,194
固定負債合計	155,353	153,960
負債合計	357,704	361,098
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,729	23,729
資本剰余金	13,758	13,758
利益剰余金	19,585	22,279
自己株式	△257	△257
株主資本合計	56,815	59,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,455	4,704
繰延ヘッジ損益	△229	△185
為替換算調整勘定	△5,268	△2,797
在外子会社の年金債務調整額	△2,905	△3,155
その他の包括利益累計額合計	△3,947	△1,434
少数株主持分	13,536	13,349
純資産合計	66,404	71,424
負債純資産合計	424,108	432,523

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	140,926	142,429
売上原価	109,664	112,237
売上総利益	31,261	30,192
販売費及び一般管理費	28,662	27,543
営業利益	2,599	2,648
営業外収益		
受取利息	225	141
受取配当金	172	226
為替差益	－	541
持分法による投資利益	218	153
助成金収入	－	375
雑収入	66	546
営業外収益合計	683	1,984
営業外費用		
支払利息	978	851
為替差損	243	－
雑支出	446	71
営業外費用合計	1,667	923
経常利益	1,615	3,710
特別利益		
固定資産売却益	11	630
減損損失戻入益	－	368
投資有価証券売却益	－	172
特別利益合計	11	1,171
特別損失		
固定資産処分損	107	52
投資有価証券評価損	111	－
関係会社株式売却損	－	18
特別退職金	－	53
特別損失合計	219	123
税金等調整前四半期純利益	1,408	4,757
法人税、住民税及び事業税	993	1,243
法人税等調整額	△9	619
法人税等合計	984	1,863
少数株主損益調整前四半期純利益	424	2,894
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△330	199
四半期純利益	755	2,694

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	424	2,894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△963	208
繰延ヘッジ損益	△140	48
為替換算調整勘定	2,817	508
在外子会社の年金債務調整額	△126	△250
持分法適用会社に対する持分相当額	1,261	1,861
その他の包括利益合計	2,847	2,375
四半期包括利益	3,271	5,270
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,122	5,207
少数株主に係る四半期包括利益	149	62

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成 24 年４月１日 至 平成 24 年６月 30 日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	水産事業	食品事業	ファイン事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	56,641	69,036	6,832	3,144	135,655	5,271	140,926	－	140,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,892	388	65	1,768	5,115	660	5,775	△5,775	－
計	59,534	69,425	6,897	4,913	140,770	5,931	146,701	△5,775	140,926
セグメント利益	578	850	1,729	431	3,589	192	3,781	△1,182	2,599

（注）１.「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

２．セグメント利益の調整額△1,182 百万円には、セグメント間取引消去 15 百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,197 百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

「水産事業」セグメントにおいて、金子産業株式会社の株式を取得し、連結子会社としております。これによるのれんの増加額は 2,304 百万円であります。

なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は現時点で入手可能な合理的な情報に基づく暫定的な金額であります。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成 25 年４月１日 至 平成 25 年６月 30 日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	水産事業	食品事業	ファイン事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	53,786	72,427	7,285	3,414	136,913	5,516	142,429	－	142,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,570	308	56	1,666	4,603	526	5,130	△5,130	－
計	56,357	72,736	7,342	5,081	141,516	6,043	147,560	△5,130	142,429
セグメント利益	512	778	1,929	361	3,582	186	3,768	△1,120	2,648

（注）１.「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

２．セグメント利益の調整額△1,120 百万円には、セグメント間取引消去 21 百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,142 百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

【訂正前】

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場会社名　日本水産株式会社　　上場取引所　東
コード番号　1332　URL http://www.nissui.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長執行役員　(氏名) 細見 典男
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画ＩＲ室長　(氏名) 根本 喜一　TEL 03-3244-7490
四半期報告書提出予定日　平成25年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	142,429	1.1	2,648	1.9	3,710	129.7	2,694	256.8
25年3月期第1四半期	140,926	4.3	2,599	△28.1	1,615	△47.2	755	△39.3

(注)包括利益　26年3月期第1四半期 5,002百万円 (60.2%)　25年3月期第1四半期 3,123百万円 (63.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.75	―
25年3月期第1四半期	2.73	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	429,947	68,049	12.7
25年3月期	421,645	63,297	11.8

(参考)自己資本　26年3月期第1四半期 54,700百万円　25年3月期 49,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	290,000	4.7	4,000	37.3	3,000	297.9	1,000	―	3.62
通期	582,000	2.7	12,500	115.2	11,500	111.3	6,000	―	21.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社　(社名)　　、除外 — 社　(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　: 無
② ①以外の会計方針の変更　: 無
③ 会計上の見積りの変更　: 無
④ 修正再表示　: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	277,210,277 株	25年3月期	277,210,277 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	924,405 株	25年3月期	923,417 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	276,286,285 株	25年3月期1Q	276,290,071 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（１）経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（２）財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
（１）四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・６
四半期連結損益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(継続企業の前提に関する注記)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(セグメント情報等)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和により円安・株高が進み、個人消費などに回復の兆しが見られました。

世界経済（連結対象期間 1-3 月）につきましては、米国では景気は緩やかな回復傾向にあり、欧州ではドイツ・イギリスにおいて個人消費で持ち直しの動きが見られるものの、ギリシャ・イタリアなどでは景気低迷が続いています。アジアでは中国において経済成長率が鈍化しています。

このような状況下で当第１四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は 1,424 億 29 百万円（前年同期比 15 億３百万円増）、営業利益は 26 億 48 百万円（前年同期比 49 百万円増）、経常利益は 37 億 10 百万円（前年同期比 20 億 94 百万円増）、第１四半期純利益は 26 億 94 百万円（前年同期比 19 億 39 百万円増）となりました。

事業の概況は次のとおりであります。

（１）水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

＜当第１四半期連結累計期間の概況＞

水産事業では売上高は 537 億 86 百万円（前年同期比 28 億 55 百万円減）となり、営業利益は５億 12 百万円（前年同期比 66 百万円減）となりました。

漁撈事業：前年同期比で減収、増益となりました。

・ 日本では、海外まき網漁業において、かつおの漁獲・販売が順調に推移しました。近海漁業では、いわしの漁獲が好調に推移しましたが、ぶり・まぐろの漁獲が減少しました。

養殖事業：前年同期比で減収、減益となりました。

・ 日本では、ぶり養殖事業で魚価が回復し販売数量が増加しましたが、まぐろ養殖事業は販売数量が減少しました。
・ 南米では、鮭鱒養殖事業で魚価が上昇しましたが、魚病の影響もあり水揚数量が減少し、原魚コストが上昇しました。

加工・商事事業：前年同期比で減収、増益となりました。

・ 日本では、鮭鱒などの販売価格が上昇しました。また、水産物の在庫圧縮を進めました。
・ 北米では、すけそうだらのすりみ、フィレーの販売価格が下落し、助子の生産量が減少しました。

（２）食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

＜当第１四半期連結累計期間の概況＞

食品事業では売上高は 724 億 27 百万円（前年同期比 33 億 91 百万円増）となり、営業利益は７億 78 百万円（前年同期比 71 百万円減）となりました。

加工事業：前年同期比で増収、減益となりました。

・ 日本では、家庭用冷凍食品、業務用冷凍食品において円安による輸入原材料・製品などの価格上昇の影響がありました。
・ 北米では、家庭用冷凍食品会社で厳しい価格競争が継続していますが、業務用冷凍食品会社では外食卸向けの販売が堅調に推移しました。

チルド事業：前年同期比で減収、増益となりました。

・ コンビニエンスストア向けチルド弁当等の売上が減少しましたが、工場の生産管理体制の見直し・改善を行い、廃棄ロスを削減しました。

（３）ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料（注１）、機能性食品（注２）、および医薬品、診断薬の生産・販売を行っております。

＜当第１四半期連結累計期間の概況＞

ファイン事業では売上高は 72 億 85 百万円（前年同期比４億 52 百万円増）となり、営業利益は 19 億 29 百万円（前年同期比２億円増）となりました。

・ 医薬原料は前年同期並みに推移し、機能性食品については、通信販売での広告宣伝により販売が堅調に推移しました。連結子会社の日水製薬株式会社においては医薬事業が伸び悩みました。

（４）物流事業
物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。
＜当第１四半期連結累計期間の概況＞
物流事業では売上高は 34 億 14 百万円（前年同期比２億 69 百万円増）となり、営業利益は３億 61 百万円（前年同期比 70 百万円減）となりました。
・ 共同配送事業の新規取り組みなどにより売上は増加しましたが、冷蔵倉庫事業において取扱量が減少しました。

（注１） 主に食品素材や化粧品素材向けとなる EPA・DHA、グルコサミン、コレステロール、オレンジラフィー油など。
（注２） 特定保健用食品「イマーク」・「イマークＳ」や EPA・DHA、グルコサミンなどのサプリメント

(2) 財政状態に関する説明
資産、負債及び純資産の状況
資産
流動資産は、前連結会計年度末に比べて 2.7%増加し、2,069 億 60 百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が 39 億 69 百万円、商品及び製品が 59 億 46 百万円増加したことなどによります。
固定資産は、前連結会計年度末に比べて 1.3%増加し、2,229 億 86 百万円となりました。これは有形固定資産が５億 56 百万円、投資有価証券が 26 億 42 百万円増加したことなどによります。
この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて 2.0%増加し、4,299 億 47 百万円となりました。

負債
流動負債は、前連結会計年度末に比べて 2.4%増加し、2,071 億 37 百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が 31 億７百万円、短期借入金が 42 億 67 百万円増加したことなどによります。
固定負債は、前連結会計年度末に比べて 0.8%減少し、1,547 億 59 百万円となりました。これは長期借入金が 18 億 54 百万円減少したことなどによります。
この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて 1.0%増加し、3,618 億 97 百万円となりました。

純資産
純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 47 億 52 百万円増加し、680 億 49 百万円となりました。これは主として四半期純利益 26 億 94 百万円及び為替換算調整勘定が 22 億２百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
現時点においては、平成 25 年５月 15 日に公表いたしました平成 26 年３月期の業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項
該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,106	7,199
受取手形及び売掛金	70,573	74,542
商品及び製品	44,834	50,781
仕掛品	16,601	18,481
原材料及び貯蔵品	27,611	26,647
その他	28,371	29,838
貸倒引当金	△500	△530
流動資産合計	201,598	206,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,161	49,455
その他（純額）	63,445	63,708
有形固定資産合計	112,607	113,164
無形固定資産		
のれん	5,030	4,705
その他	12,394	12,456
無形固定資産合計	17,425	17,162
投資その他の資産		
投資有価証券	67,627	70,270
その他	27,730	26,792
貸倒引当金	△5,344	△4,403
投資その他の資産合計	90,013	92,659
固定資産合計	220,046	222,986
資産合計	421,645	429,947

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,416	35,524
短期借入金	130,736	135,003
未払法人税等	3,026	1,263
未払費用	24,099	24,549
引当金	4,954	3,792
その他	7,116	7,003
流動負債合計	202,350	207,137
固定負債		
長期借入金	131,940	130,085
退職給付引当金	17,069	17,459
その他の引当金	239	220
その他	6,747	6,993
固定負債合計	155,997	154,759
負債合計	358,348	361,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,729	23,729
資本剰余金	13,758	13,758
利益剰余金	15,883	18,577
自己株式	△257	△257
株主資本合計	53,113	55,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,455	4,704
繰延ヘッジ損益	△229	△185
為替換算調整勘定	△4,673	△2,470
在外子会社の年金債務調整額	△2,905	△3,155
その他の包括利益累計額合計	△3,352	△1,107
少数株主持分	13,536	13,349
純資産合計	63,297	68,049
負債純資産合計	421,645	429,947

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	140,926	142,429
売上原価	109,664	112,237
売上総利益	31,261	30,192
販売費及び一般管理費	28,662	27,543
営業利益	2,599	2,648
営業外収益		
受取利息	225	141
受取配当金	172	226
為替差益	－	541
持分法による投資利益	218	153
助成金収入	－	375
雑収入	66	546
営業外収益合計	683	1,984
営業外費用		
支払利息	978	851
為替差損	243	－
雑支出	446	71
営業外費用合計	1,667	923
経常利益	1,615	3,710
特別利益		
固定資産売却益	11	630
減損損失戻入益	－	368
投資有価証券売却益	－	172
特別利益合計	11	1,171
特別損失		
固定資産処分損	107	52
投資有価証券評価損	111	－
関係会社株式売却損	－	18
特別退職金	－	53
特別損失合計	219	123
税金等調整前四半期純利益	1,408	4,757
法人税、住民税及び事業税	993	1,243
法人税等調整額	△9	619
法人税等合計	984	1,863
少数株主損益調整前四半期純利益	424	2,894
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△330	199
四半期純利益	755	2,694

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	424	2,894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△963	208
繰延ヘッジ損益	△140	48
為替換算調整勘定	2,668	240
在外子会社の年金債務調整額	△126	△250
持分法適用会社に対する持分相当額	1,261	1,861
その他の包括利益合計	2,698	2,107
四半期包括利益	3,123	5,002
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,974	4,939
少数株主に係る四半期包括利益	149	62

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成 24 年４月１日 至 平成 24 年６月 30 日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	水産事業	食品事業	ファイン事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	56,641	69,036	6,832	3,144	135,655	5,271	140,926	－	140,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,892	388	65	1,768	5,115	660	5,775	△5,775	－
計	59,534	69,425	6,897	4,913	140,770	5,931	146,701	△5,775	140,926
セグメント利益	578	850	1,729	431	3,589	192	3,781	△1,182	2,599

（注）１.「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

２．セグメント利益の調整額△1,182 百万円には、セグメント間取引消去 15 百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,197 百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

「水産事業」セグメントにおいて、金子産業株式会社の株式を取得し、連結子会社としております。これによるのれんの増加額は 2,304 百万円であります。

なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は現時点で入手可能な合理的な情報に基づく暫定的な金額であります。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成 25 年４月１日 至 平成 25 年６月 30 日）

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	水産事業	食品事業	ファイン事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	53,786	72,427	7,285	3,414	136,913	5,516	142,429	－	142,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,570	308	56	1,666	4,603	526	5,130	△5,130	－
計	56,357	72,736	7,342	5,081	141,516	6,043	147,560	△5,130	142,429
セグメント利益	512	778	1,929	361	3,582	186	3,768	△1,120	2,648

（注）１.「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。

２．セグメント利益の調整額△1,120 百万円には、セグメント間取引消去 21 百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,142 百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。